



主たるCSR活動 (環境配慮編)

株式会社プロントコーポレーション



株式会社プロントコーポレーション

- 設立 1988年2月1日
- 総店舗数 307店舗 (2016年12月)
- 業態企画・運営・経営・及びフランチャイズ展開と
コンサルティング





環境経営について (2008年)

**企業と社会が持続可能な発展をしていく為に、
地域・環境との調和した企業経営が欠かせない時代**

**企業活動のプロセスの質が問われている時代
CSRの必要性はどんどん年々高まっている
具体的に何をしたら良いのか迷っている企業も多い**

プロントは3つの領域を特に活動強化展開をし整備していく

CSR

Corporate Social Responsibility

(企業の社会的責任)

Customer Smile Relationship

「プロントのCSRは、笑顔の約束」

法令順守

(多数あるが特に強化)

外食産業であるが故に

自然の恵みを頂き商売させて頂いているそれを
将来に向け再生していく義務がある

@食品リサイクルの強化 @排出量の徹底低減

Carbon offset & CRM

企業活動や日常生活によって排出される
二酸化炭素を封じ込める為、植樹活動を実施

@P LOVE GREEN キャンペーンを展開

@売上の一部を上記活動に寄付

2008年具体的 環境配慮活動開始

●ISO14001認証を取得

2009年12月に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得し、継続的に環境活動を推進しています。

プロントグループでは、2008年に「環境委員会」を設置。「環境方針」を制定してさまざまな環境活動に取り組んでいます。

「環境方針」

①プロントグループは、以下を重点実施項目として取り組みます。

- ：省資源・省エネを行いCO2の削減に努めます。
- ：廃棄物の減量化・再資源化に取り組みます。
- ：従業員自らエコオフィスを実現し、グリーン調達を推進します。
- ：地域と連携した環境保全活動に努めます。
- ：広く社会に環境情報を開示します。

②環境マネジメントシステムを構築し、環境目的・目標を設定して環境保全活動に取り組み、継続的改善・環境汚染の予防につなげます。

③環境関連の法規制・協定を順守します。

④この環境方針は、プロントグループCSR基本理念である「関わるすべての人たちが笑顔になるような関係をつくる」ことをめざし、全従業員・ビジネスパートナー様等携わる全ての人々に周知し環境教育・啓発などを通じ、環境意識の向上に努めます。

「CSR」「環境配慮」「ISO」「地球温暖化対策」

約アルバイト6,000人超が主軸：飲食チェーン

分かりやすい表現が浸透の鍵



●CSRという言葉独自に解釈し全従業員で共有

Corporate Social Responsibility



Customer Smile Relationship

PRONTOグループに関わる
すべての人 (Customer) が
笑顔 (Smile) になる
関係 (Relationship) をつくっていくこと

と定義し、プロント流CSRを推進。

ハンドブック「SHARING SMILE」を作成し、全従業員に配布。
従業員には、心のこもったおもてなしを提供することが、お客様の笑顔につながると伝えています。



「当たり前のことを、あえてメッセージとして伝える」ことを主眼に絵本タイプの「ハンドブック」を作成



現場目線：店舗女性社員
アルバイトチーム構成
制作・編集を任せた

資源は、無限じゃない

毎日使っている、電気やガスなどのエネルギー。
そのエネルギーは、限りある資源から作られています。

本当に必要な時、必要な分だけ使っているか。
いつもの行動なら、いまから変えられます。

Take Action!!

- 使っていない電気を消す。主電源を切る。水道を出しっぱなしにしない。
その一つひとつが、地球を支えます。
- エアコンは1℃調節するだけで、年間のCO2削減量は約31kgにもなります。
これは50年生の杉2.2本が、約1年がかりでやっと吸収できる量です。
地球に優しいのは、冷房28℃、暖房20℃。
ただし、お店ではお客さまのことを一番に考えて温度調節をしましょう。

● PRONTOでは、チームマイナス6%※に参加し、CO2削減を心がけています。
-6%は、みんながちょっとした上着の脱ぎ着だけで実現可能な目標です。

※深刻な問題となっている地球温暖化。この解決のために世界が協力して作った京都議定書が、2005年2月16日に発効しました。日本が世界に約束した目標は、温室効果ガス排出量6%の削減。これを実現するための国民的プロジェクト、それがチーム・マイナス6%です。
URL <http://www.team-6.jp/about/team6/index.html>

みんなで地球を
チーム・マイナス6%

地球にスマイルを

●2007年～2009年の3年間 富士山清掃活動参加



●2010年 「プロント品川店」にて 環境省 の省エネ照明モデル事業に選定

2010年当時はLED推進の先駆けとして表彰

(株)プロントコーポレーションでは、地球環境を経営資源の1つと認識し、環境との調和に配慮して、環境保全と循環型社会の実現を目指し活動しています。その一環として、新規店舗・改装店舗を皮切りに、客席照明の発光ダイオード(LED)採用を進めています。当社は、今後も、お客様や従業員の環境意識を高め、エコ企業にふさわしい活動を展開していきます。



●MOTTAINAI運動 共感し賛同



ノーベル平和賞受賞:ワンガリ・マータイ氏が「もったいない」という日本語に深く共鳴し、「環境保全のキーワードとして世界の共通語にしよう」と提唱したことから始まった運動に共感参画。

環境の基本・原点

3R(リデュース:ごみ減量、リユース:再使用、リサイクル:再利用)

MOTTAINAI活動に参加をし、環境保全していきたいと考え、カフェソラーレの店舗を中心にMOTTAINAIという言葉を広めていきたいと、この活動に参加いたしました。



法令順守

●廃棄物の減量化・再資源化

プロントグループ全店でごみの完全分別に取り組んでいます。指定廃棄物処理業者と直接契約できるテナント店舗においては、生ごみの100%堆肥化を推進し、不燃ごみも100%再資源化・リサイクルしています。

また、2012年においてはコーヒー豆かすの再資源化にも取り組みました。

●コーヒー豆かすを再利用した植木鉢「CAFE TSUCHIKO」の開発

プロントで廃棄されるコーヒー豆かすは1日約2トン。おいしく飲まれている一方で毎日大量のコーヒー豆かすは廃棄されています。

試行錯誤を重ね、誕生したのがコーヒー豆かすと間伐材からできた植物由来の植木鉢「CAFE TSUCHIKO（カフェ ツチコ）」です。

「CAFE TSUCHIKO」には、細かな空気穴があるため土に十分な空気を送ることができ、根腐れが起こりにくく、植物に最適な環境をつくれます。

また、植物由来の製品のため、植物が大きくなったら、そのまま大きな鉢や庭に植え替えることができ、自然に土に還ります。



●店内の壁面にコーヒー豆かすを再利用

東京スカイツリー®にあるプロント東京ソラマチ®店では、「聚楽（じゅらく）壁」にコーヒー豆かすを混ぜあわせ、消臭・店内の湿度管理に役立てています。



●多様な再資源化・リサイクルの推進

プロントグループでは、自然の恵みを商品としてお客様に提供していることから、その恵みをできるだけ循環させることが大切であり、将来に向けて再生していく義務があると認識しています。

そのため、グループを挙げて食品廃棄物の削減に積極的に取り組んでいます。

食品リサイクル法では外食産業には食品廃棄物の40%のリサイクル、または削減という義務数値が定められていますが、2012年にはその目標を大きく上回る**63%**という数値を達成しています。



●空きびんをリサイクルした 「PRONTO Eco Glass」を開発

2010年4月より、サントリーウイスキー「角瓶」の空きびんをリサイクルした「PRONTO Eco Glass」を導入しています。



「角瓶」の空きびんを利用した
「PRONTO Eco Glass」

●リペアによる長期使用で廃棄物を削減できる 「PRONTOブロンズグラス」

お客様に「ザ・プレミアム・モルツ」のプレミアム感をより深く味わっていただくために開発した「PRONTOブロンズグラス」。ブロンズグラスは、ガラス製グラスのように簡単には破損しないものの、美しい色合いは次第に劣化します。そこでプロントでは、リペアしてブロンズ本来の色合いをよみがえらせ、長期間使用することで廃棄物の削減につなげています。



●地球温暖化防止の壁面緑化も導入

プロントグループは大型ビル内のテナント出店が中心です。そこで、店内環境改善と地球温暖化防止のために、店舗設計上可能な店舗では壁面緑化システムを導入し、CO2の吸収を推進しています。



壁面緑化システムの導入

●店舗での節水活動を推進

水使用量削減のため、各店舗では節水コマや節水トイレを導入しています。また、2012年から全店舗で水使用量・排水量の可視化を進め、水の削減に努めています。

●環境に配慮した資材・包材を使用

テイクアウトに使用する紙袋・プラスチックカップ・紙おしぼり・紙ナプキンを減量化しています。また、非木材を混入した紙の導入や、印刷に使用するインキも大豆インキに切り替えるなど、環境に配慮した活動を推進しています。



紙袋の軽量化



リユース箸



お客様トレー



フロント・ラブ・グリーン

P LOVE GREEN

この国にもっとグリーンを！



プロントは、**ブランドカラーのフォレストグリーン**を大切にしています

「この国にもっとグリーンを！」をテーマに

- 1.プロントは、日本の環境保護活動を支援することで、持続可能な未来の発展に貢献します。
- 1.プロントは、大自然の美味しさがつまった厳選メニューで、お客様へ喜びと安心を届けます。
- 1.プロントは、グリーンがテーマの多彩なエンターテインメントを発信し、お客様を元気にします。
- 1.プロントは、これらの活動を通じて、環境意識の高い未来型企業としての自己実現を図ります。

●東京湾 海の森植樹活動

2010年～2015年 全7回 240名参加 6,000本植樹



●PLG開始直後 東日本大震災 復興 緑化支援

2011年～ 全6回 60名参加 高台移設 幼稚園に植樹活動



被害を受けた吉里吉里保育園の園舎。



建設中の様子



社会貢献型のCRMが増加（外食の先陣を……）

当時、社会貢献型のマーケティングが増加。

商品・サービス価値＋企業姿勢＋環境・社会問題を啓発していく、共感型のマーケティング。

メーカー:その場のキャンペーン的
CRMに映った

当社当チェーンは継続を決意
(その為には企業成長が鍵)

2009年

2007年登場

しかし、他企業はすぐに続かず



ボルヴィック
「1L for 10L」3年継続
アフリカの水問題支援
商品売上:初年度31%増
2年目11%増



アース製薬
殺虫剤製品
マラリア撲滅



アサヒ スーパードライ
国内の環境など支援
寄付は2億2千万円
商品売上11%増
09年9月から第2弾



ブックオフ 2009年8月
開発途上国の図書館建設
全店舗でポスター、
チラシ各種、Webサイト
活動報告コンテンツ、
TVCM など



コーセー 雪肌精
沖縄のサンゴ礁保全

- プロントのCRM=お客様と共に
薄利多売の当外食チェーンですが
経営判断を仰ぎ、大きな・大きな10円を
厳選メニューに上乗せしお客様参画型の
寄付活動を開始



●PLGメニュー設定 1品10円の寄付金

2016年 10月末現在 緑の募金
71,782,455円
(当年 熊本地震支援 5,300,000円含)



大地の恵みを頂き商売をさせて頂いている
PRONTOグループ
主として大地への還元するCSRとしての
「P・LOVE・GREEN」

- ①大地から生まれた、こだわりの生産過程・原材料に対してマーキングをする
- ②地産地消（日本各地食材の意）・ご当地メニューにマーキングする
- ③訴求クオリティを高めている商品にマーキング



日本にもっとグリーンを！



END